

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本



2024年11月24日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

レモンの島を再生させた元鉄道マン

24日(日)＝1、3面

迫る



レモンの生産日本一という「生口島」をご存じでしょうか。瀬戸内海に浮かぶ人口8500人という小さな島です。瀬戸内海といえば「しまなみ海道」という自動車

道路が開通以降、ドライブやサイクリングで絶景を楽しむ観光客が増えました。生口島もしまなみ海道は通っているものの、にぎわいから取り残された感がありました。

そんな島を再生させた請負人が内藤真也さん＝写真＝(44)です。元々はJR西日本の鉄道マン。そこから、ファンドの資金を使って観光面での地域振興を進める企業に出向し、生口島と出合います。

この島にはレモンだけではなく豊かな観光資源があり、ホテル運

営会社が旧商家をリノベーションしてホテルにしようと乗り出します。計画が進みかけたように見えたが、住民たちは「島がどう変わってしまうのだ」と警戒感を抱きます。そこで内藤さんは企業と住民をつなぐため、一計を講じました――。

人口減に悩む地方が多い中、この「生口島モデル」は大いに参考になるのではないのでしょうか。経済部(大阪)の小坂剛志記者の執筆です。

特集 ワイド

『女遊びは芸の肥やし』は本当か

25日(月)＝夕刊2面

飲み会で女性に性的行為を強要したと報じられたお笑いコンビ・ダウンタウンの松本人志氏＝写真。週刊誌側を相手取って裁判を起こし、今月になって取り下げました。SNS上では「女遊びは

芸の肥やし」といわんばかりに松本氏を擁護する意見もあります。本当に「芸の肥やし」なのでしょうか。落語家の立川雲水さん、放送作家のデーブ・スペクターさんとともに考えます。



論点 トクリュウと闇バイト

27日(水)＝オピニオン面

首都圏を中心に、「闇バイト」にに応じた若者が絡んだ盗などの事件が頻発し、不安が広がります。実行役が入れ替わりながら犯罪を重ねる「匿名・流動型犯罪グループ」(トクリュウ)によるものと考えられます。新しい形の犯罪へ捜査はどう進

められているのか。「ホワイト案件」などの書き込みにつられる若者たちはなぜ減らないのか。ネット交流サービス(SN)を使った凶悪事件に対する捜査の実態と、犯罪に関わる若者たちの背景にあるものを探りました。

そこ が聞きたい

公益制度 柿崎環・明治大教授

24日(日)＝くらしナビ面



斉藤元彦・兵庫県知事のパワハラ疑惑に対する内部告発への取り扱いをきっかけに、通報者への不利益な取り扱いを禁じる公益通報者保護法のあり方が注目されています。

法改正に向けた検討を進める消費者庁の有識者検討会で委員を務める柿崎環・明治大教授＝写真＝に公益通報制度の課題や、見直し議論のポイントを聞きました。

MAINICHI
毎日新聞

(長尾真央)

年々年末年始、親子で楽しむのにぴったり。QRから毎小の公式インスタグラムに飛んで、最新の情報をフォローしてください！



11月26日午後、毎日小学生新聞の「冬休み学び応援キャンペーン」のお申込みがスタートします。お申込みいただいた方には、昨年大好評だった「なるほどドリル」ももちろん♪ ぼんた学び応援カレンダー「2025」をもれなくプレゼントします。お問い合わせください。

編集後記

竹橋の窓辺から

